

一般財団法人京都市防災協会

1. 団体の概要(令和8年4月1日現在)

代表者(職・名)	理事長 川中長治			
所在地	京都市南区西九条菅田町7番地 京都市市民防災センター内			
電話番号	075-662-1849	設立年月日	平成6年10月1日	
ホームページアドレス	https://kyotobousai-c.com/w/topconfig/bousaikanri/			
基本財産(又は資本金)(千円)	10,000	市出資・出捐金(千円)	10,000	市出資割合(%) 100.0
所管部局 (局・室・電話番号)	消防局総務部総務課 075-212-6612			
事業目的	防災思想及び防災知識の普及並びに防災に関する技能向上のための教育指導その他地域防災体制の確立に資する事業を推進し、もって地域社会の安全と福祉の増進に寄与すること。			
業務内容	(1) 防災思想の普及及び高揚に資する事業 (2) 事業所等に対する防災の教育指導に資する事業 (3) 各種防災関係講習 (4) 防災に関する調査及び研究 (5) 防災設備等の普及指導 (6) 京都市市民防災センターの管理運営 (7) その他協会の目的を達成するために必要な事業			

(参考①) 役職員の年齢構成

(単位:人)

	役員		職員		平均年齢 (歳)
	常勤役員	非常勤役員	常勤職員※	非常勤職員	
10～20歳代	0	0	0	0	67
30歳代	0	0	0	0	
40歳代	0	1	0	0	
50歳代	0	1	1	0	
60歳代～	1	9	4	10	
合計	1	11	5	10	

※うち京都市からの派遣職員は2人

(参考②) 積立金、不動産の概要

基金、積立金等(退職引当金は除く)		
主な基金、積立金名	想定される主な用途	期末残高
経営安定化基金	将来的な自主事業の実施、その他経営の安定化に関すること	11.2 百万円
特定事業積立金	当協会の節目を記念して行う周年事業の費用	1.08 百万円
土地、建築物の保有状況		
主な不動産の種類、場所	想定される主な用途	敷地・延床面積
—	—	— m ²
—	—	— m ²

(参考③)京都市の政策と団体活動の関連性

関連する本市の行政計画等とその方向性	
計画名	<p>新京都戦略(令和8年3月改定)</p> <p>https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000339369.html</p>
概要	令和9年度までに取り組む政策や、政策を推進するためのしごとの仕方改革、財政・組織体制の今後の方針を示すもの。
計画における記載	<p>〈政策集〉</p> <p>6 市民のいのち・暮らしを守る「安心安全で災害に強いレジリエントなまち」</p> <p>(1) 危機管理・防災体制の構築</p> <p>④ 地域防災の中核を担う消防団や自主防災組織、水防団をはじめとする地域団体との連携や防災力向上に向けた取組への支援</p> <p>⑤ 防災教育・防災訓練の実施、マイ・タイムラインの普及促進などによる地域や家庭の防災力の向上</p> <p>(2) 消防救急体制の確保</p> <p>② 救急体制の充実、市民・事業所と連携した応急手当の普及啓発やAED の設置促進</p>
上記計画に関連する団体の事業や取組	
	<ul style="list-style-type: none"> ・防火・防災に係る各種イベントの開催(防災週間及び防災とボランティア週間に合わせた防災イベントなど) ・異常気象や風水害、地震災害等をテーマにした防災講演会の開催 ・防災用品の普及啓発及び販売、防火防災啓発資機材等の貸出し ・京都市消防局その他団体等と連携し、共催、後援等の実施(京都市総合防災訓練等での出展など)

2. 財務面の概要

(単位:千円)

主要財務数値	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	予算	実績	予算	実績	予算	実績(※)	予算
経常収益	181,950	178,107	176,158	176,498	176,961		177,971
経常費用	181,950	168,884	176,158	179,054	176,961		177,971
当期経常増減額	0	9,223	0	△ 2,556	0		0
当期正味財産増減額	0	7,041	0	△ 2,626	0		0
資産合計	-	112,125	-	105,910	-		-
負債合計	-	27,171	-	23,582	-		-
正味財産合計	-	84,954	-	82,328	-		-
累積損益額	-	74,954	-	72,328	-		-

(参考④) 財務指標

(単位:%)

			令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算	
自立性	市補助金割合	市補助金収入 — 経常収益	0.0	0.0	#DIV/0!	小さいほど 自立性が高い
安定性	自己資金率	正味財産合計 — 資産合計	75.8	77.7	#DIV/0!	大きいほど 安定性が高い
収益性	売上高経常利益率	経常収益—経常費用 — 経常収益	5.2	△ 1.4	#DIV/0!	大きいほど 収益性が高い
	総資産経常利益率	経常収益—経常費用 — 資産合計	8.2	△ 2.4	#DIV/0!	大きいほど 収益性が高い

(参考⑤) 京都市からの補助金等

(単位:千円)

		令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 決算(※)	令和8年度 予算
補助金	—	—	—		—
	小計	0	0	0	0
委託料	市民防災センターの管理運営事業〔指定管理(非公募)〕	132,560	132,560		132,560
	京の宿泊所防火研修	715	715		—
	小計	133,275	133,275	0	132,560
貸付金	—	—	—		—
	小計	0	0	0	0
その他	—	—	—		—
	小計	0	0	0	0

3. 目標及び実績

(1) 業務面

目標 「センターの利用促進及び防災意識の高揚」	
令和7年度の目標	<p>ホームページやSNS等を活用した京都市市民防災センターの利用促進のための情報を定期的に更新するとともに、市民のニーズを具体的に把握するための来館者アンケートを実施し、その分析結果を踏まえた窓口サービスの向上を目指す。</p> <p>また、京都市消防局と連携した消防局公式キャラクターの物品販売を展開することにより、幅広い年齢層の来館者アップを図る。</p> <p>さらに、市民の防災意識を高揚させるため、自主的な活動につながる防災指導を重点的に取り組むとともに、講演会で実施する学識経験者による地震や異常気象等をテーマにしたタイムリーな防災情報を広く周知するため、ホームページを活用したWEB配信の提供に努める。</p>
令和7年度 の取組結果 (※)	
令和8年度の目標	<p>京都市市民防災センターの利用促進のため、ホームページやSNS等を活用し、適宜イベント情報等を発信するとともに、来館者アンケートを実施し、その分析結果を踏まえた市民サービスの向上を目指す。また、市民の防災意識を高揚させるため、自主的な活動につながる防災指導に重点的に取り組むほか、地震や異常気象等をテーマにしたタイムリーな防災知識を広く周知するため、学識者による防災講演会をWEBでも配信できるよう努める。</p> <p>さらには、将来の地域防災の担い手となる若年層の防災知識の向上を図るため、若年層の来館者の増加に向けた取組を推進する。</p>

指標	防災意識の高揚（来館者のうち、自ら取り組もうとする意識をもった割合）						(単位：%)
目標と実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	85	86	90	88	90		90

指標	入館者数						(単位：人)
目標と実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	60,000	68,744	80,000	74,849	90,000		90,000

(2) 財務面

目標 「健全な財務運営」	
令和7年度の目標	京都市市民防災センターの運営においては、京都市からの指定管理料を効率的・効果的に活用し、サービス向上に取り組む。
令和7年度の取組結果 (※)	
令和8年度の目標	京都市市民防災センターの運営においては、京都市からの指定管理料を効率的・効果的に活用し、サービス向上に取り組む。

指標	正味財産増加額						(単位：千円)
目標と実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	0	7,041	0	△2,626	0		0

(3) 組織面

目標 「人材育成及び職員教育」	
令和7年度の目標	協会の運営を担う人材育成及び職員教育を充実させるため、各種研修、セミナー等に積極的に参加し、質の高い組織体制を構築する。
令和7年度の取組結果 (※)	
令和8年度の目標	協会の運営を担う人材育成及び職員教育を充実させるため、各種研修、セミナー等に積極的に参加し、質の高い組織体制を構築する。

指標	財団運営、コンプライアンス、応対等に係る研修、講習等の受講者延べ人数及び受講の講座数 (上段：受講者延べ人数、下段：受講講座数)						((上段) 単位：人) ((下段) 単位：講座)
目標と実績	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績 (※)	目標
	15	14	15	15	15		15
		3	3	3		3	

4. 令和7年度の経営評価（令和6年度の経営状況に対する評価）

(1) 所管局による評価

財務面	<p>令和6年度の当期一般正味財産増減額は2,626千円の赤字となった。</p> <p>赤字の主な要因としては、京都市市民防災センターの運営において、物価高騰に加え、土日祝日の来館者増への対策として、インストラクターの増員配置や駐車場に警備員を配置したことなどによるものである。</p> <p>経費削減や収入増加の必要性があるものの、資産と負債のバランスは保たれており、現在のところ財務指標は健全といえる。</p>
事業面	<p>市民防災センターの利用促進と防災意識の高揚を目指した取組として、Web や SNS を活用した情報発信をしつつ、防災週間における各種イベントや防火・防災講習等を年間計画どおり実施し、令和7年1月には阪神・淡路大震災から30年の特別防災展を実施することで、来館者数は前年度比6,105人増の74,849人となっており、コロナ禍以降、順調に増加している。</p> <p>また、来館者アンケートにおいて、例年同様、窓口サービス評価は、「接遇」、「説明」等の全ての項目において評価は高く、さらには前年度から向上しており、市民防災センターの適切な管理運営等に取り組まれている点は評価できる。</p>

(2) 外郭団体総合調整会議による評価

<p>業務面の目標については、センターの利用促進及び防災意識の高揚において当初の目標を達成していないものの、前年度の実績を上回っている。</p> <p>近年、自然災害が激甚化・頻発化していることから、防災への関心が高まっている中で、京都市民の防災意識向上と減災対策の推進における団体の役割は重要であり、引き続き、防災指導の実施や、最新の防災情報の発信などにも積極的に取り組んで欲しい。</p>
--